

第 27 回日本組織適合性学会大会の御案内

第 27 回日本組織適合性学会大会

大会長 太田 正穂

(信州大学医学部内科学第 II 教室 特任教授)

副大会長 田中 榮司

(信州大学医学部内科学第 II 教室 教授)

このたび、第 27 回日本組織適合性学会大会を松本市で開催させていただくことになりました。松本では、本学会の前身である日本組織適合性研究会を、1977 年に開催して以来 41 年ぶりの開催であり、このような歴史と伝統のある本大会を開催させていただくことは誠に光栄でございます。本大会は、高度な多型性と機能を有する MHC 研究の最新の進歩・進捗状況、臨床応用を見据えて「MHC 多様性の科学—基礎から“Precision Medicine”の実現へ—」をテーマとしました。HLA の臨床現場への有用性は、個別化医療 (personalized medicine) と言うよりもまさしく適確医療 (precision medicine) の実現と思われれます。学術企画はプログラム委員によりこの様なテーマに沿ったプログラムを構成したいと考えております。会場となるまつもと市民・芸術館は、松本駅から徒歩 10 分程で、国宝松本城、美術館、松本の中心街にも気軽に出向くことが可能であります。気候に恵まれたこの時期、城下町松本にぜひ多くの皆様方の御参加を心からお待ちしております。

会期：平成 30 年 9 月 21 日 (金) ～ 9 月 23 日 (日)

会場：まつもと市民・芸術館

〒 390-0815 長野県松本市深志 3-10-1

TEL: 0263-33-3800

大会プログラム (予定)

特別講演 I : Prof. Seiamak Bahram (Strasbourg School of Medicine)

特別講演 II : Prof. Marco Colonna (Washington University School of Medicine)

学会賞受賞講演, シンポジウム (疾患感受性, 腫瘍免疫, 臓器移植・造血細胞移植) など

QCWS 集会, 教育講演は 9 月 23 日 (日) に開催

演題応募期間：平成 30 年 4 月 16 日 (月) ～ 6 月 1 日 (金)

大会事務局・運営事務局

信州大学医学部内科学第 II 教室

第 27 回日本組織適合性学会大会事務局 担当・城下 智

〒 390-8621 松本市旭 3-1-1

TEL: 0263-37-2634 E-mail: jshi2018@shinshu-u.ac.jp

集会運営担当・株式会社プロコムインターナショナル

〒 135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館 9 階

TEL: 03-5520-8821 FAX: 03-5520-8820 E-MAIL: jshi27@procomu.jp

大会ホームページ

<http://procomu.jp/jshi2018/>

事前登録・宿泊予約は大会ホームページよりお早めにお申し込みください。

平成 30 年度の学術奨励賞候補者の公募について

会員の皆様方へ

日本組織適合性学会では、平成 17 年度より若手学会員の学術研究を奨励する「学術奨励賞」を設けております。学術奨励賞は「組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野における、秀でた学術的研究を若い学会員に奨励するために優れた若手研究者を表彰し、もって当該分野の発展に寄与すること」を目的としております。

上記の趣旨に則り、平成 30 年度の日本組織適合性学会の学術奨励賞候補者を、以下の要領で公募いたしますので、奮ってご応募ください。なお応募の方法等につきましては、第 27 回 日本組織適合性学会大会(大会長：太田正穂、開催地：松本市)の HP 内に開設されている、「学術奨励賞応募」サイトにも詳細に記載されておりますので、そちらも御参照ください。

1. 助成内容

平成 30 年度・学術集会大会（第 27 回大会：松本市）に応募された一般演題で、さらに学術奨励賞にも応募された演題の中から、特に優秀と認められた演題の筆頭演者（応募者、原則として平成 30 年 4 月 1 日時点で満 45 才以下）に、学術奨励賞を授与いたします。授与件数は若干名で、賞金 5 万円あるいはそれ以下の副賞の授与を予定しております。

2. 応募資格

本学会の正会員（当該年度大会までに正会員となる者を含む）であり、以下の条件のすべてを満たす者といたします。

- 1) 組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野に関する学術研究において、その内容が優れていること。
- 2) 当該年度の会費を納入済みであること、または当該年度の学術集会大会までに正会員として会費を納入すること。
- 3) 学術奨励賞を受賞した者は、原則として次年度以降も正会員を継続すること。
- 4) 当該年度の学術集会大会に、筆頭演者として演題を応募すること。
- 5) 応募しようとする演題の内容において、応募者が中心的な役割を果たしていること。
- 6) 応募しようとする演題の内容が、本学会に未発表であること。
- 7) 受賞後に MHC へ原著論文あるいは総説を執筆できること。
- 8) 過去 3 年間に学術奨励賞を受賞していないこと。
- 9) 学術奨励賞の応募者は当該年度の 4 月 1 日において、原則として 45 才以下であること。

3. 応募方法

学術奨励賞に応募しようとする会員は、大会（学術集会）の一般演題申込み締切り日（5 月末ごろの予定）までに、大会 Web サイト上で 1) 演題抄録を登録する際に、下記の 2) 学術奨励賞・登録用紙をダウンロードして必要事項を記載し、同 Web サイト上に抄録と共にアップロードしてください。この操作により、学術奨励賞への応募が完了します。あるいは登録用紙を学術集会運営担当・プロコムインターナショナル社（e-mail: jshi27@procomu.jp）あてに、メールで送信して頂いても結構です。

1) 演題抄録

一般演題に応募した抄録

2) 学術奨励賞への「登録用紙」

登録用紙の 1 頁目に、演題名、演者（全員）、所属（全員）、および応募者（筆頭演者）の氏名、生年月日、年齢、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、e-mail アドレスを記入してください。2 頁目以降に、(1) 応募した研究の背景、(2) 研究の意義、(3) 日本組織適合性学会との関わり（これまでの関わりと、今後の方針・計画など）を、項目ごとにそれぞれ 300 ～ 400 字程度にまとめてください。

4. 選考および結果通知について

受賞候補者には学会会場で、「学術奨励賞応募演題」として口頭発表を行っていただきます。なお応募者が多い場合には、事前に書類選考を実施します。事前選考で選ばれた演題のみが最終選考の対象となり、事前の書類選考で選ばれなかった演題は、一般演題として発表されます。

理事長、学術賞担当理事、学会賞選考委員、ならびに学術賞担当理事が選考した若干名の評議員によって構成される、学術奨励賞選考委員会が登録書類と学術奨励賞応募演題の発表の内容を評価します。奨励賞選考委員会は、学術奨励賞応募演題の演者の中から、若干名を受賞候補者として選考した後に、これを理事長に推薦して承認を得ます。なお、委員が受賞候補者と緊密な利害関係にある場合は、当該候補者の審査には加わらないものとします。当該年の学術集会大会中に選考結果を公表し、表彰式を実施します。

5. 受賞者にかかる義務について

- 1) 学術奨励賞受賞者は、助成が行われた研究課題に関する報告書（様式は別途通知します）を、日本組織適合性学会事務局 (hlajimu@m.u-tokyo.ac.jp) あてに提出してください。
- 2) 受賞後原則として 3 ヶ月以内に、受賞課題に関する原著論文あるいは総説を MHC へ投稿してください。

6. 助成金の使途

使途について特に制限はありませんが、学術奨励賞であることの趣旨を理解のうえ、適切に使用するものとします。なお受賞者は使途と、その内訳を前述の報告書に記載してください。

7. 問い合わせ先

本件に関する問い合わせは、応募方法等については学術集会運営担当・プロコムインターナショナル社 (e-mail: jshi27@procomu.jp) あてに、また学術奨励賞の規則等については学術賞担当理事・西村泰治 (e-mail: mxnishim@kumamoto-u.ac.jp) あてに、お願いいたします。

**組織適合性検査技術者認定制度
平成 30 年度・認定 HLA 検査技術者講習会のお知らせ**

組織適合性検査技術者認定制度委員会

委員長 田中 秀則

組織適合性教育委員会

委員長 太田 正穂

日 時：平成 30 年 9 月 23 日（日曜日）

時刻：9 時 00 分～11 時 00 分の予定

会 場：第 27 回・日本組織適合性学会 大会会場

まつもと市民・芸術館

〒390-0815 長野県松本市深志 3-10-1（TEL 0263-33-3800）

テキスト：テキストは講習会の約 1 ヶ月前に、学会ホームページ上に掲載しますので各自、御参照ください。
会場でのテキストの販売は、いたしません。

受講証明書：認定制度に関わる受講証明の受領を希望される方には、会場入口の受付にて、1 人につき 1 枚を発行いたします。

内 容：各講習とも質疑応答を含めて、40 分を予定しています。

(1) HLA に関する基礎医学的な講演

木村 彰方 先生（東京医科歯科大学 難治疾患研究所分子病態分野）

「認定制度試験問題を中心とした HLA に関する基礎」

(2) HLA タイピングあるいは抗 HLA 抗体検査に関する講演

大橋 順 先生（東京大学・理学系研究科）

「データ解析の基礎」

(3) 臓器移植の臨床医学に関する講演

諫田 淳也 先生（京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学）

「造血細胞移植における HLA 適合度と移植成績の基礎」

この講習会は、今後 HLA 検査技術者認定を取得、あるいは更新しようとする者を対象に実施されますが、それ以外の大会参加者であっても自由に参加することができます。事前に受講希望届けを提出し、事前登録していただく必要はございません。

初心者講習会の開催及び参加希望者募集について

組織適合性学会教育委員会
委員長 太田正穂
組織適合性学会初心者教育部会
部会長 高 陽淑

日本組織適合性学会では、学会大会プログラムにおいてQCワークショップや技術者講習会を開催し、学会員の組織適合性検査に関わる知識や技術の向上を目指しております。

しかし一方では、組織適合性検査に関する基礎的な知識の習得や日常業務に役立つポイントなどの情報交換ができる時間を十分に確保することは難しい状況があります。

そこで、今年度も下記の通り、HLA および HLA 検査に関する基礎的な内容の教育訓練を目的とした「初心者講習会」（複数企画を予定）を大会期間中に開催する事と致しました。

記

- 1, 対 象：学会員および大会参加者
(組織適合検査の初心者で、HLA の基礎的な内容の教育訓練を希望する方)
- 2, 日 時：日本組織適合性学会第 27 回大会期間中
2018 年 9 月 21 日（金）19:00～21:00（予定）
- 3, 会 場：まつもと市民・芸術館
- 4, 定 員：各企画につき 20 名程度
(定員数を超える場合は、当委員会で選考を行う場合があります。)
- 5, 参加費：無料
- 6, その他：申し込みに関する詳細は 6 月中旬に日本組織適合性学会のホームページ (<http://jshi.umin.ac.jp/>) に掲載致します (応募締め切りは 7 月末を予定しています)。

以上

平成 29 年度 認定 HLA 検査技術者講習会アンケート集計結果

開催日時：平成 29 年 10 月 29 日（日）8：30～10：30

会 場：第 26 回・日本組織適合性学会 大会会場

（JMS アステールプラザ第 1 会場）

・回答者総数：118 名

1) 旅費・滞在費の財源について 回答者 118 名

①	私費	26 名 (22%)
②	職場からの支援	87 名 (74%)
③	その他	5 名 (4%)

③その他の内訳：研究費，教育研究経費

2) 職場・職務について

職場 回答者 118 名

①	病院	62 名 (53%)
②	血液センター	17 名 (14%)
③	検査センター	8 名 (7%)
④	大学（国公立，私立）	7 名 (6%)
⑤	民間企業	17 名 (14%)
⑥	その他	7 名 (6%)

国立・公立：33，私立：29

国立・公立：5，私立：2

⑥その他の内訳：研究所

職務 回答者 118 名

①	臨床医	3 名 (3%)
②	臨床検査業務	71 名 (60%)
③	検査受託業務	13 名 (11%)
④	製造業関連業務	3 名 (3%)
⑤	製品開発業務	6 名 (5%)
⑥	教育業務	3 名 (3%)
⑦	研究業務	11 名 (9%)
⑧	その他	8 名 (7%)

兼務内訳（臓器：29，輸血：38，造血幹：23）

⑧その他の内訳：薬剤師，学生，生化学・血液等一般検査業務，技術サポート，学術・品質情報課

3) 参加者の認定制度への関わりについて

認定資格の取得状況および取得への希望 回答者 110 名

① 取得済み 46 名 (42%) ② 希望 51 名 (46%) ③ 希望しない 13 名 (12%)

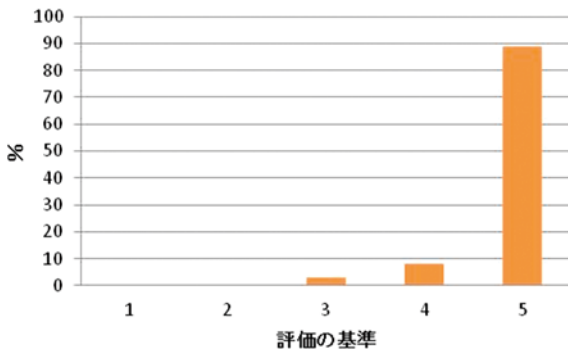
取得済みまたは取得を希望する資格 回答者 57 名

① 認定技術者 51 名 (89%) ② 認定指導者 6 名 (11%)

4) 学会ホームページに掲載された、講習会テキストの事前確認の有無 回答者 118 名
あり 93 名 (79%) なし 25 名 (21%)

5) 講習科目の種類は適切であったか？

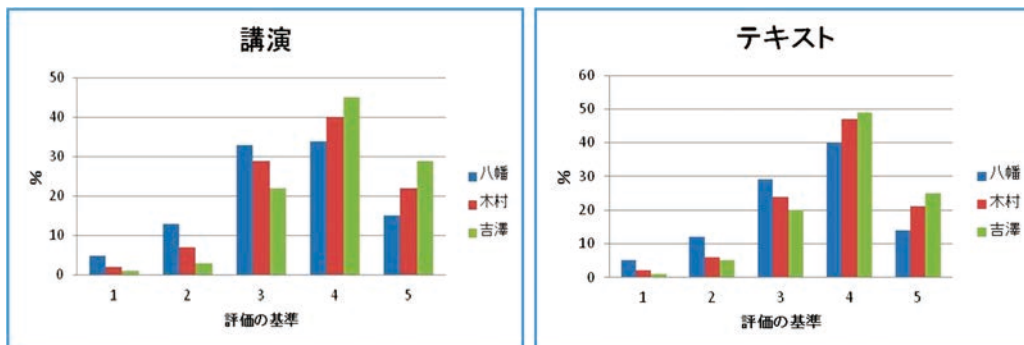
講習科目の適切性



評価の基準

- 5:すべての科目において適切であった。
- 4:一部の科目に問題があったが、ほぼ適切であった。
- 3:約半数の科目は適切であった。
- 2:多くの科目について不適切であった。
- 1:すべての科目について不適切であった。

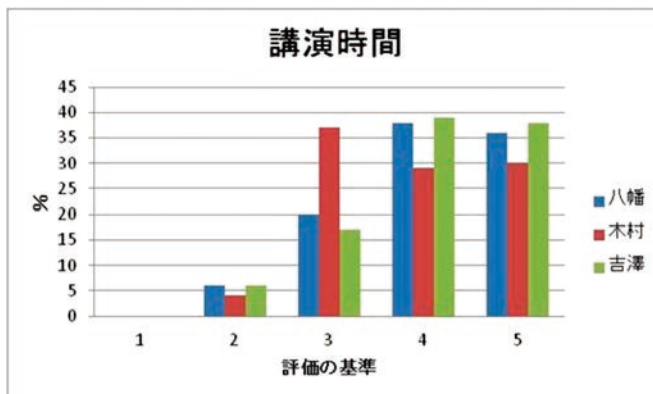
6) 講習内容のレベルならびに講習テキストは適切であったか？



評価の基準

- 5:すべて理解できた。
- 4:一部は難解であったが、ほぼ理解できた。
- 3:約半分は理解できた。
- 2:多くの内容について難解であった。
- 1:すべての内容が難解であった。

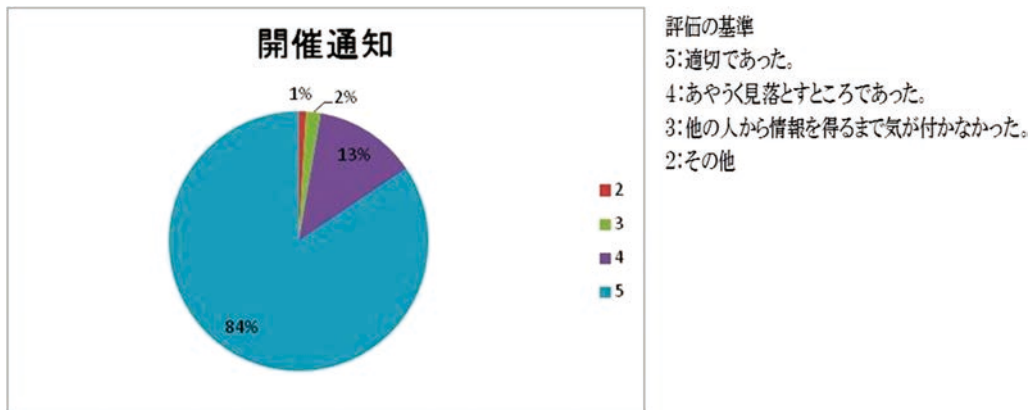
7) 講習時間は量的に適切であったか？



評価の基準

- 5:適切であった。
- 4:ほぼ適切であった。
- 3:もっと長時間の講習を受けたかった。
- 2:講習時間はもう少し短くてもよかった。
- 1:その他

8) 講習会の開催通知は適切であったか？



9) 意見

- 歴史等について勉強しにくいので、技術者講習あるいは試験の基礎に関するテキストを作成して欲しい。
- 統計の計算方法や種類に関する講習を開いて欲しい。
- 木村先生の内容をテープ起こしして会誌に載せて欲しい。
- とても解り易い講演でした。
- 講演会のスライドをHPに載せて欲しい。造血フォーラムではHPに1週間以内にupして頂いている。
- 試験問題の解説は今後も継続して欲しい。臨床の先生方から症例検討や検査結果をどのように判断しているか報告して欲しい。
- 移植施設・移植基準に関する法体系について講習して欲しい。
- 認定試験問題のための適切な内容をまとめたものを作成して欲しい。
- テキストを抄録に入れて欲しい。
- プロジェクターが原因なのかスライドが見にくかった。
- 講習会の開始30分前には入室させて欲しい。
- 余裕をもって会場に来たのに入室ができなく忙しい感じがした。
- テキストの場所および抄録のパスワードが解らなかった。

組織適合性技術者認定制度委員会・部会名簿（2018）

組織適合性技術者認定制度委員会

委員長：田中 秀則

副委員長：中島 文明

委員：石塚 敏，一戸 辰夫，太田 正穂，木村 彰方，黒田 ゆかり，高 陽淑，徳永 勝士，
成瀬 妙子，西村 泰治，橋口 裕樹，藤井 明美，湯沢 賢治

資格審査部会（※：施設認定担当）

部長：成瀬 妙子

副部長：田中 秀則

部員：石塚 敏，中島 文明，橋口 裕樹[※]，藤井 明美[※]

試験問題検討部会

部長：木村 彰方

副部長：平山 謙二

部員：一戸 辰夫，太田 正穂，田中 秀則，徳永 勝士，成瀬 妙子，西村 泰治，湯沢 賢治

QCワークショップ部会

部長：中島 文明

副部長：黒田 ゆかり，高 陽淑，橋口 裕樹

部員：石塚 敏，一戸 辰夫，奥平 裕子，川井 信太郎，吉川 枝里，木村 彰方，小島 裕人，
小林 孝彰，田中 秀則，成瀬 妙子，宮崎 孔，藤井 明美，藤原 孝記，湯沢 賢治

参考マニュアル作成 WG

HLA タイピング WG：成瀬 妙子，黒田 ゆかり，吉川 枝里，小川 公明

抗 HLA 抗体 WG：高 陽淑，川井 信太郎，藤原 孝記，横沢 佑弥

クロスマッチ WG：橋口 裕樹，石塚 敏，黒木 聖久，高山 智美，藤井 明美，金本 人美

表記法 WG：黒田 ゆかり，石塚 敏，木村 彰方，田中 秀則